

◆宮城県沖を震源とするマグニチュード7.4の余震が発生

4月7日23時32分頃、宮城県沖を震源とする余震が発生しました。盛岡市で、震度5強の揺れでした。川久保病院ならびに在総センターひだまりには深夜の停電の中にも関わらず、多数の職員が駆けつけました。ガス・水道は利用できることが確認されましたが、念のために病棟およびショートステイへ水を汲み置きしました。その後、エレベーターが動かないことを想定し、朝7時30分に朝食の運搬を確認し、1時過ぎに一部の職員を除き解散となりました。

大船渡市現地医療支援チームは無事です！

昨夜の余震では、沿岸部に津波注意報が発令されましたが、現地事務局として支援に入っている県連事務局の中居武史さんとも連絡が取れ、北海道民医連の第二次隊とともに無事が確認されています。大船渡は、電気と水道がストップしていますが、通常通りの医療支援を行う予定とのことです。急遽、県連事務局長の吉田博さんが、必要な物資等を届けに8日午後大船渡へ向かっています。

明日以降の医療支援は予定通りに行います。

リハビリ支援チーム、第3次岩手隊、明日9日出発します！

リハビリ支援として、リハビリテーション科藤原宏太さん(OT)、岩淵望さん(OT)、および現地事務局として川久保病院医事課の田中久仁雄さんが明日9日の午前8時に出発。また、小児科の蒔苗剛医師と看護師の浅沼優さんが、2時間後の10時に現地に向けて出発します。

◆ 義捐金へのご協力ありがとうございます。50万円を超えました！

ナターシャ・グジーさんからメッセージ

ナターシャさんはウクライナ生まれ、パンドウーラ奏者・歌手。25年前、チェルノブイリ原発が爆発した時、原発から3.5キロの地点にいました。6歳の時でした。

ナターシャ・グジーさんからのメッセージ

「東日本大震災の悲劇を乗り越える勇気や希望を私のうたを通して持ってほしいと思います。震災直後から寝る間も惜しんで活動している民医連職員・共同組織のみなさんにうたをささげます」

メッセージと歌のDVDが届いています。ご覧になりたい方

は吉田県連事務局長まで連絡ください。全日本民医連のホームページにもビデオメッセージが載っています。(DVDには「いつも何度でも」(千と千尋の神隠しの挿入歌)「見上げてごらん夜の星を」が澄みきった歌声とともに収録されています。)

